

## R6 三重県庁魅力発見オンライン講座【概要】

### ◆スケジュール

- 13:30～13:50 県の業務概要説明
- 13:50～14:30 講演
- 14:30～14:45 休憩
- 14:45～15:20 若手職員トークセッション①（行政・技術）
- 15:20～15:55 若手職員トークセッション②（警察関係）

#### （1）県の業務概要

- ・ 県職員の行政職や技術職（農学、林学、総合土木、福祉技術、保健師など）の紹介のほか、警察事務官や小中学校事務職員についても紹介。
- ・ 三重県の組織、勤務場所・配属先、給与・休暇、時間外勤務等について説明。
- ・ 今後の説明会スケジュール
  - 三重県庁おしごと説明会 in 三重：12/21(土)
  - ご家族向けオンライン就職説明会：12/26(木)
  - 三重県庁現場説明会：12/26(木)
    - ※三重県が発注する工事の施工現場を見学できる説明会
  - 三重県職員等採用試験説明会（2月上中旬）
  - 三重県職員ガイダンス（2月下旬）

#### （2）講演

- ・ 伊賀保健所勤務の職員による講演を実施
- ・ これまでの経歴
  - 1～2年目 統計課
    - ・ 物価や学校に関する統計調査を担当
    - ・ 国が作ったマニュアルに沿った仕事
  - 3～5年目 紀北地域活性化局
    - ・ 地域との距離が近い様々な仕事
    - ・ コロナの影響
  - 6～7年目 感染症対策課
    - ・ コロナ対応の振り返り、予算管理を担当
    - ・ 途中、宿泊療養施設の運営チームの応援
  - 現在（8年目）伊賀保健所
    - ・ 4月から8月まで育児休業を取得
    - ・ 災害医療、肝炎対策、免許交付などを担当

- ・三重県の仕事はとても幅広く、「異動＝転職」という表現も大げさではない。
- ・県は、ミクロとマクロを行き来する地域の担い手。  
「課題＝やりがいの種」がたくさん転がっている地方はやりがいの宝庫。
- ・県庁は、たくさんの出会いとチャンスが転がる職場。  
様々な志、価値観、スキルを持った人がおり、自分が知らない世界を知ることができるだけでなく、自分の新しい可能性を見つけることができる。
- ・将来のキャリアビジョン、やりたいことが明確に決まっている人  
→ 視野や世界観を広げるチャンス  
将来のキャリアビジョン、やりたいことが分からない・決まっていない人  
→ 経験を積む中で見つけていくことができる
- ・働く上で「主体性（問題意識を持ち、自ら考え行動すること）」が大切。  
主体性さえあれば、やりがいのある仕事ができる職場。  
自分に合った働き方で、自分らしく働くことができる。

### (3) 若手職員トークセッション（行政・技術）

#### ◆パネリスト

- ①採用4年目（行政Ⅰで受験：行政職） 人材確保対策課
- ②採用3年目（行政Ⅱで受験：行政職） 議会事務局
- ③採用4年目（農学で受験：農業技師） 担い手支援課

#### ◆公務員を目指したきっかけ・理由

- ①大学3年次に受けた三重県庁のインターンシップがきっかけ。インターンにて、若者の県外流出といった社会問題が身近な課題であることを実感。漠然と公務員を考えていたが、地元である三重県の課題解決に関わりたいという思いが強くなり、公務員を志望。
- ②県庁に入庁する前は、県内の民間企業で勤務。後輩に対して、胸を張って会社や仕事内容の良さを話せないと気付いたことや、目標に向かって営業するより、何かを企画することや管理することが自分には合っているなど感じ始めたことをきっかけに、民間企業から公務員への転職を考えるようになった。
- ③県庁に入庁する前は、民間企業で勤務。売上目標があり、達成すると賞与に直結するため、すごくやりがいがあった。しかし、あくまで売上を上げることが第一目標となってしまう、農業の課題として根本にある、耕作放棄地の増加、担い手不足などの課題を解決するようなことはなかなかできなかった。より幅広い視点で、農業の課題に向き合い、解決していきたいと思い、公務員を志望した。

◆公務員のなかで、なぜ三重県庁を選んだのか。

- ①地元である三重県のためになることをしたいという思いがあった。行政のゼネラリストとして、幅広い業務に取り組むことができるだけでなく、複数の地域の橋渡し役となり、県全体として業務に取り組む点に魅力を感じ、市町ではなく県を選択。
- ②・三重県には家族がいること、すでに県内で社会人生活をし、慣れ親しんでいることから、転職しても三重県内で働きたいと考えていた。
  - ・地元の市の職員も検討したが、もう少し広い視点で仕事がしたいと考えたため県庁を選んだ。
- ③農業に関する部署は市町村にもあるが、農業技師として募集していなかった。大学は農学部で学び、前職では農業関係の仕事をしてきたこともあり、これまで積み上げてきた知識、経験をなるべく活かしたいと思い、県職員を志望した。

◆実際に働いてみて感じたこと、想像していたことと違ってしたこと

- ①・想像していたよりも、デスクワークばかりではない点。イベントの運営・企画の際には、関係者との打合せや調整業務など、庁舎の外で行う仕事も多かった。
  - ・仕事について気軽に相談しやすい環境があること、休暇が取得しやすい雰囲気があることも、三重県の魅力の一つだと思う。
- ②・予算を査定する業務のなかで、各部署から提出された予算の必要性を確認するために担当者から聴き取りを行った際、仕事に誇りを持ち、熱く語る方が多く、それまで公務員に対して抱いていた印象と異なった。また、予算の査定というとても重要な仕事に、入庁1年目から携わることができることにも驚いた。
  - ・現在の議会事務局の仕事は、主に県議会議員をサポートする仕事。入庁前はこういった仕事をするとは想像していなかったため、すべてが新鮮。入庁年次の浅いうちから、議員の方々とたくさん関わる機会があることはなかなかないため、今後の県職員生活でも役立つと感じている。
  - ・想像以上に休暇が取りやすいと感じている。

- ③・公務員は県民の税金を使用して仕事をしており、自分のする仕事に対して根拠を求められる。前職に比べるとスピード感が劣ると感じるが、ミスや県民からの指摘に対応するためには、必要なことだと思う。
- ・前職の時は、農家さんのところへ行っても「商品が売られるのでは」と警戒されることもあり、相手にされないこともある一方、公務員はその立場上、農家さんとより深く向き合い、現場に入り込んで相談等を受けるため、責任も感じるがやりがいもある。

◆当時の受験対策について

- ①・試験勉強については、大学の公務員講座を受講。公務員講座は大学3年次から始まったが、夏休みは少し緊張感が緩んでしまったため、本格的に勉強し始めたのは大学3年の秋頃。公務員講座で試験対策や面接対策を行った。
- ・面接対策については、大学のキャリアセンターやアスト津にある「おしごと広場みえ」を活用。その他にも、同じ志望先の友人を集めて面接練習を実施。大学の先輩が面接練習に付き合ってくれたり、相談に乗ってくれたこともモチベーション維持につながった。
- ②・前職は残業も多く、試験勉強の時間がかなり限られていたため、専門試験がなく、教養試験だけの行政Ⅱの試験はとてありがたかった。
- ・試験対策としては、配点や問題数が多い分野を重点的に勉強した。面接や論文試験については、県のホームページを見て、県の事業内容や県の課題に対する県の取組を勉強するようにした。また、面接で話せそうな経験を書き出し、「こういう質問にはこのエピソードで話せそうだな」とイメージトレーニングを行うとともに、鏡の前で話す練習もした。
- ③・漠然と転職したいとは思っていたがなかなか踏み切れず、家族から「三重県職員を受験するのは無料だから一回受けてみたら？」と言われたことがきっかけ。1次試験の2～3カ月前くらいに受験を決めた。
- ・申し込みをすると実感が沸き、やる気が出てきたため、約2カ月ではあったが仕事の合間を縫って本気で勉強した。時間が限られているため、参考書は一般教養1冊、技術職の参考書1冊のみで勉強。一般教養は、自分の苦手な社会、国語は手を付けず、数的処理など得意分野に特化して勉強した。専門分野は、参考書などをまとめ直した。
- ・農学の試験には小論文があり、たまたま前職で同じ県庁を目指す人がいたため、作文を添削し合って練習した。

#### ◆メッセージ

- ①・入庁したばかりのころは仕事に対する不安や緊張があったが、先輩方から、仕事内容だけでなく、社会人としての一般常識やエクセルの基本的な操作に至るまで丁寧に教えてもらった。まだまだ勉強中ではあるが、毎日業務に取り組んでいる。
  - ・今回のトークセッションで、三重県庁への就職を考えるきっかけの一つになれば嬉しい。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしている。
- ②・就職先を考えるうえでは悩むことが多いと思うが、たくさん悩んで、最終的に三重県庁を選んでいただけると嬉しい。
  - ・三重県庁は優しい人が多いので、安心して受験していただけたらと思う。みなさんと一緒に働けることを楽しみにしている。
- ③・農業技師に限って言えば、農家さんと直接接する普及員、補助金業務や事業の推進を行う行政、そして研究所と大きく3つの分野があり、様々な仕事ができる。
  - ・毎年、異動希望を出す機会があり、必ずしも自分の希望する部署に行けるとは限らないが、希望した部署に配属されるよう配慮してくれることもある。
  - ・公務員は魅力ある仕事なので、皆さんと一緒に働ける日が来れば嬉しく思う。

#### (4) 若手職員トークセッション（警察関係）

##### ◆パネリスト

- ④採用5年目（警察官Bで受験：警察官）自動車警ら隊
- ⑤採用7年目（警察官Aで受験：警察官）津警察署
- ⑥採用4年目（警察事務Bで受験：警察事務官）会計課

##### ◆警察官、警察事務官を志望した時期・きっかけ

- ④公務員になりたい、人の役に立ちたいという思いがあり、当初は消防士を目指していた。友人に警察官がおり、話を聞くうちに警察官になりたいと思うようになった。
- ⑤小学生の頃から警察官への憧れがあった。大学生のときに参加したインターンシップで、警察官が感じている気持ちを知ることができ、警察業務へのやりがいを感じた。県外の大学に行っていたが、地元の三重県警に入りたいと思い、受験した。

- ⑥大学4年の秋頃。当初は民間企業への就職を目指して就活をしていたが、あまりうまくいかなかったため、職種の幅を広げたときに警察を視野に入れた。親からも警察を勧められ、三重県警の説明会に参加したこともあり受験した。

◆警察への就職前後でのギャップ

- ④体力的に大変なイメージがあると思うが、警察学校での訓練で自然と体力がつく。デスクワークもあれば現場仕事もあるため、自分の特性に応じて働くことができる。
- ⑤通報（事件、事故）が予想よりはるかに多いこと。普段の生活ではあまり経験しなかったため、件数の多さに驚いた。
- ⑥鑑識業務やシステム開発など、警察事務官の仕事の幅広さに驚いた。

◆試験勉強を始めた時期、対策

- ④公務員になりたいという思いがあったため、書店で参考書を購入し、繰り返し問題演習をした。数的処理が苦手だったため、参考書を追加購入し、苦手克服に取り組んだ。また、予備校の無料講習に参加し、過去問での対策も行った。面接は、高校の進路担当の先生と練習した。
- ⑤警察官試験の問題集のほか、予備校で過去問を入手して取り組んだ。体力試験の対策については、元々運動部に所属していたため、部活の中で体力をつけた。他の受験者と差をつけられるように、体力試験に向けた体づくりをするとよいと思う。
- ⑥8月末の採用説明会に参加し、9月末の試験を受験したため、試験勉強期間は1か月間のみ。書店の参考書を購入して集中して勉強した。面接は、民間企業の就活で数をこなしていたため、場慣れしていた。専門試験対策は、大学で行政法のゼミに入っていたことが功を奏し、なんとかカバーできた。

◆受験生に向けてアドバイス

- ④警察官、警察事務官になりたいと思ったら、後悔しないように、最後まであきらめずに取り組んでほしい。
- ⑤インターンシップで警察官の魅力を肌で感じられたので、説明会やインターンシップにぜひ参加してほしい。

- ⑥自分のなかでどうしたいかの軸をもち、そのなかで様々な職種を検討するのがよいと思う。自分自身、民間企業を受けたことも後悔していないし、今の仕事も楽しくやっている。悩んだ結果、警察の仕事を選んでもらえる嬉しい。

◆警察官、警察事務官になってよかったこと

- ④福利厚生、休暇制度が充実している。休暇を取りやすい雰囲気があるため、プライベートの時間も充実させられる。業務では、自分が職務質問をして、犯罪検挙につながったことが複数あり、とてもやりがいを感じている。
- ⑤地域の方に感謝してもらえること。今はデスクワークが中心だが現場に出ることもあり、声をかけてもらえるのは嬉しい。  
また、被害者対応では、寄り添った対応を心掛けているが、私の対応で被害に遭った方の不安そうな表情が安心した表情に変わるのを見られたときはやりがいを感じる。
- ⑥落とし物係をしていた際、落とし物から落とし主を特定し、本人に返却できた際にすごく喜んでもらったことがとても嬉しく、やりがいを感じた。

◆成長したと感じる瞬間

- ④元々人と会話するのが得意ではなかったが、毎日人と触れ合う機会があるため、コミュニケーション力が自然と身についた。
- ⑤優しく、面白い職員が多いため、良い雰囲気で働くことができる。  
以前できなかったことが、異動先でできるようになった経験があり、さまざまな業務を通じてできることが増えたと実感している。
- ⑥自分が担当する業務の幅が増え、自分の裁量が広がっているように感じる。

◆メッセージ

- ④風通しの良い職場で、福利厚生も充実している。ぜひ採用試験を受けていただき、今後一緒に働けたら嬉しい。
- ⑤インターンシップや採用説明会に行っていただくと、こんな人と働きたいと思える人がたくさんいるので、ぜひ行って見てほしい。
- ⑥まだ進路が決まっていない方もいると思うが、色々な説明会に参加するなかで、やりたいことを絞ればよいと思う。うまくいかなくても、警察の秋の試験があるので、ぜひ受けていただけたら嬉しい。

以上